

とを期待するものである。

なお、今後も組合の動向を注視していくとの説明がありました。

◆商工会合併の進捗状況◆

市の支援の状況と、商工会の状況について質疑がありました。

当局からは、合併への補助は事務看板等の消耗品的なものが主である。今後は、3商工会の臨時総会で承認を得て12月末に調印し、設立委員会で協議のうえ、4月1日設立予定であるとの説明がありました。



大雄・実験農場の視察

建設

成瀬ダム事業現場を視察

国直轄ダム建設凍結の政府方針が示されている中、委員会では今定例議会に陳情のあった平成23年

本体工事着手予定の成瀬ダム事業現場を視察しました。

審査では、議案12件・陳情1件について、それぞれ可決・採択すべきものと決定されました。

主な審査は、次のとおりです。

◆下水道に法律適用の検討を◆

公営企業法を適用する考えはないかとの質疑がありました。

当局から、公営企業法の適用により、下水道事業の経営内容が明確になり、赤字経営の改善策としても考えて行きたい。現在、一般会計からの繰り入れがある状況であり、平成23年度の適用に向けて準備を進めているとの答弁がありました。

◆下水道事業計画の見直しは◆

計画の進捗状況はどうか、また人口も対象世帯数も減少している中で見直しが必要ではないかとの質疑がありました。

当局より、事業費は、合併時の約8億円から4億6千万円ほどに減少されている。また、国庫補助事業であるため、市としての年次計画を示せない状況である。

なお、計画は7年ごとに認可の見直しがあり、平成23、24年に見直しが必要となるとの答弁がありました。



成瀬ダム事業現場を現地視察

◆まちづくり交付金への影響は◆

政権交代による交付金事業の見直しについて質疑があり、既に事業年度の後半であり、事業仕分けでも補助率・交付金率への言及はなく、事業の影響はないものと考えているとの説明でした。

総務文教

新たな地域づくり案を審査

委員会では、請願のあった雄物川町の交差点を調査しました。審査では、議案7件・請願1件・陳情2件を審査しました。

◆地域づくり協議会の条例案◆

協議会の委員構成についての質疑には、若い人や年配の経験豊かな方にも参画していただけるように、各地域協議会へ推薦をお

願いしたい。なお、スムーズな運営のため、約半数の交代を考えているとの答弁がありました。

また、来年度予定している2億円の地域局枠予算について質疑があり、当局より、地域は自分達でつくるという気持ちで取組んでいきたいと、ハード事業・ソフト事業の枠も設けず、地域での決定権や自由度を確保していきたいとの答弁がありました。



雄物川町今宿・信号機設置の請願場所

このほか、中学校の耐震補強工事についてなど、各議案に多くの質疑と討論がありました。

採決では、森林組合への増資の件で採決を行なわなかった一般会計補正予算案と、陳情1件を除き、いずれの案件も可決・採択すべきものと決定されました。